

第4回

名言

はがき

短歌

はがき

俳句

はがき

川柳

はがき

作品 募集

コンクール

名言、短歌、俳句、川柳を入れて、
想いを伝えるはがきを書こう

応募例

雪を見に帰省しませんか
今年は11月19日に初雪が降りました。
手のひらに雪をのせたときの、
真珠を見つめるような、うれしげな
眼差しを今も思い起こしています。

伝えたい何もなければ
文にしたたむ初雪のこと
娘への

郵便はがき

50



〒105-0012
東京都港区芝大門2-2-11
泉芝大門ビル3階
名言はがき等コンクール事務局

住所
氏名/年齢または学年/性別/
一般またはジュニア
電話番号
題：娘へ
区別：短歌

第3回コンクール入賞作品から

作品の題：娘へ

短文 歌：伝えたい何もなければ娘への文にしたたむ初雪のこと
章 雪を見に帰省しませんか
今年は11月19日に初雪が降りました。
手のひらに雪をのせたときの、
真珠を見つめるような、うれしげな
眼差しを今も思い起こしています。

第3回の入賞作品は、「想いを伝える手紙・はがき作成支援サロ」に掲載しています

第4回 名言 はがき、短歌 はがき、俳句 はがき、川柳 はがきコンクール

—名言、短歌、俳句、川柳を入れて、想いを伝えるはがきを書こう—

募 集 要 領

○募集作品

- ・作品は、名言、短歌、俳句、川柳のうちのいずれかを入れた、書いた人の想いを伝えるはがきとします。
- ・作品には、文章の長短は問いませんが、必ず、入れられた名言、短歌、俳句、川柳を通じて伝えたいことなどを内容とする文章を添えてください。
- ・名言等は、文章の中に使用されても、それ以外であっても構いません。
- ・「母から長男へ」等のはがきの内容に相応しい題を付けてください。
- ・短歌、俳句、川柳は、応募者が創作したものに限りです。
- ・名言には、諺、格言、私の好きな言葉などを含みます。
- ・募集は、一般の部とジュニアの部(高校生以下)とします。

○審査基準

- ・はがき全体(名言・短歌・俳句・川柳、はがきに書かれた文章、作品の題等)から、書いた人の想いが伝わってくる作品となっているかを審査します。
- ・作品は、手書きでも、パソコン利用でも構いませんが、同レベルの場合は、手書き作品を上位作品とします。

○応募方法

- ・作品は、郵便はがき又は私製はがきで応募してください。1枚のはがきに1作品とします。
- ・はがきの宛て名面には宛名のほか、下部に住所・氏名・年齢(学年)・性別・応募区分(一般・ジュニア)・電話番号・作品の題・応募作品の区別(名言、短歌、俳句、川柳)を明記してください。

応募期間 平成25年10月1日から平成25年12月27日(必着)

及び 〒105-0012
東京都港区芝大門2-2-11 泉芝大門ビル3階
送付先 名言はがき等コンクール事務局

○結果発表等

- ・入賞者の発表:平成26年3月(当財団のホームページに掲載します)
- ・賞品:入賞作品(一般の部、ジュニアの部それぞれ20作品程度)1作品につき、1万円相当の図書カード。
- ・入賞作品の発表:当財団の「想いを伝える手紙・はがき作成支援サイト」(<http://www.yu-cho-f.jp/sozai/>)に掲載します。
- ※応募作品は、返却しません。
- ※著作権は当財団に帰属します。
- ※入賞作品は、本コンクールのPR等に使用することがあります。
- ※マスコミ等の取材に対し、作品とともに、都道府県名、名前、年齢等を公開することがあります。

○審査員(50音順)

安西 篤(現代俳句協会副会長・俳人)
糸数富美江(日本郵便㈱PFCアドバイザー)
大木 俊秀(NHK学園文芸センター編集主幹・柳人)
甲村 秀雄(日本短歌協会理事長・歌人)
星野 興爾(ジャーナリスト)

○個人情報について

応募者の個人情報は、厳重に管理し、本コンクールに関する発表や連絡、賞品の発送、出版その他、応募作品の利用における応募者表示以外の目的には利用しません。

○お問合せ先

一般財団法人ゆうちよ財団ポストタル部
電話 03-5275-1813
(9:00~17:00、ただし土・日・祝・休日を除く)

主催:一般財団法人ゆうちよ財団
〒101-0061東京都千代田区三崎町3-7-4
後援:日本郵便株式会社